

保護者の皆様

始業式 校長の話 ～ 旭中学校の生徒の皆さんへ ～

本日の始業式では、お子様に次のような話をしました。保護者の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。

《この写真を見てください。ホテルの窓際の前の砂浜に、何か大きな絵と字が書いてあります。こちらは、上から撮った写真です。大きく「まけるな」と書いてありますが、わかりますか？

1月末に、当時、新型コロナウイルスの感染が拡大していた国から、日本政府のチャーター機で多くの日本人が帰国しました。帰国後、経過観察としてホテルで隔離されて過ごすことになったのです。不自由で不安な生活を長期間過ごすホテルの滞在者を励まそうと、地元の人たちが砂浜に、「まけるな！あと少し！」と砂の上に書いた文字です。

夜には、この写真のように、地元の親子連れら約百人が、三千本の竹灯籠をともして、ホテル内の人たちを励ましました。ホテル内からは、スマートフォンの明かりを左右に揺らして、感謝の気持ちが伝えられたそうです。その他にも、いろいろな地元の励ましがあり、この写真のように、ホテル滞行者の人たちがつくった「皆さんありがとう」のはり紙が、ホテルの窓にはられていました。

こちらの写真を見てください。これは、フランスのパリの住宅の様子です。フランスでは、外出禁止令が出されていて、人々は、1日中自宅にいてはならなくなりました。そんな不自由な生活の中でも、夜8時に、新型コロナウイルスと必死に闘う、お医者さんや看護師さんなどの医療従事者の方々に対し感謝と敬意を表すため、自宅の窓際やバルコニーから一斉に拍手とエールが送られているのです。みんなで力と心を合わせて新型コロナウイルスと闘っているのです。

新型コロナウイルス感染症にかかわるいろいろな情報が、毎日たくさん提供されています。中には、残念ながら、心無いうわさ話やインターネット上の誹謗中傷で、感染者やその関係者に対する偏見、差別等がみられるものもあります。この感染症について、間違った情報を聞いて、まわりの人たちや友だちに、差別や偏見につながるような行為やいじめがあっては絶対にいけません。不確かな情報に惑わされず、一人ひとりがお互いの人権を大切にしながら生活していきましょう。

さて、皆さんも、毎日思い通りのことができない生活で、ストレスを感じている人も多くいると思います。でも、がんばりましょう。今、世界の人々が、必死に新型コロナウイルスと闘っています。皆さんも一緒に協力してください。「協力して」と言っても、皆さんができることをしてくれればいいのです。

まずは、手洗い、うがいなど、自分自身の感染症予防に十分に努めてください。密閉空間、密集場所、密接場面は避け、不要不急の外出は控えましょう。万が一、皆さんにこの感染症がうつり、皆さん自身は軽症で済んでも、その病気が、家族や他の人、特にご高齢の方や持病のある方にうつると、命にかかわることもあることをよく知っておきましょう。「健康観察票」を使って、自分の健康に関心をもち、毎朝、体温を測り、自分の健康状態をチェックしてください。

この感染症にかからないためには、免疫力をつけることも大きな鍵になっていると言われています。そのためには、生活のリズムを整え、睡眠と栄養をしっかりとることが大事です。ぜひ、心がけてください。体操などの適度な運動も心がけましょう。

休業中は、学習課題にしっかり取り組みましょう。お家の方とテレビを見る時間やゲームやスマホ、パソコン等を利用する時間を決めておきましょう。困ったことがあったときやトラブルに巻き込まれそうときは、必ず身近な大人に相談しましょう。

プリントでお渡ししたように学年登校日があります。皆さんの元気な顔が見られるとよいと思います。でも、熱や風邪の症状があるときは、無理な登校はひかえてください。もし、登校日の朝、家で体温を測ることを忘れたときは、登校後すぐに、職員室にきて体温を測ってください。

いつもとは違う生活が続く中で、落ち着かない気持ちになったり、気が休まらなくなる場合もあります。心配事などがありましたら、遠慮なく先生に相談してください。学校カウンセラーの先生にも相談を申し込めます。

休校が長引き、不自由な生活が続きますが、できるだけ前向きに考えましょう。普段できない家事を手伝う。苦手な教科の勉強を自主的にする。本をたくさん読むなど、この事態を乗り越えながら成長していく旭中の生徒の皆さんの姿に期待しています。》